

平成27年度 「市長と語る市政懇談会」記録



福 地 地 区

平成27年7月23日（木） 午後6時30分から
福地ふれあいセンター（グリーンホール）

市政懇談会次第

- 1 開会
- 2 平成27年度施政方針の説明（市長）
- 3 施政方針に係る質疑応答（事前意見・質問等の回答）
- 4 自由意見交換
- 5 閉会

参加者等

懇談会の地区代表者	福地北部小校区：犬塚代表町内会長
校区代表町内会長	福地南部小校区：山田会長
地区関係市議会議員	岡田隆司議員
市関係者	榊原市長、小島副市長、増山副市長、浅岡教育長、 鴨下企画部長、永谷総務部次長、鈴木危機管理局長、 神谷健康福祉部長、青山子ども部次長、 星野地域振興部次長、金原産業部長、田中環境部長、 杉山建設部長、牧上下水道部次長、 森田市民病院事務部長、岩瀬教育部長、岩瀬消防長、 事務局：新實秘書課長、岩瀬主任主査ほか3名
参加者数	市民64人、地区関係市議会議員1人、市関係者22人、 報道関係者2人
事前意見・質問等	整理区分5件 内訳：意見3、質問2、要望3
自由意見等	整理区分4件 内訳：意見3、質問2、要望1

市長と語る市政懇談会

平成27年7月23日（木）

- 秘書課長 失礼いたします。皆さま、こんばんは。私はこの懇談会の事務局を務めさせていただきます秘書課長の新實と申します。よろしくお願いいたします。
- なお、本日、出席者におきましては、クールビズの推奨ということでノーネクタイの軽装でございますことをご了承いただきたいと思います。
- それでは、お時間になりましたので、ただいまから市長と語る市政懇談会、福地地区を開会いたします。
- 初めに、本日の出席者をご紹介します。
- 本日の懇談会開催に当たり、多大なるご協力を賜りました、福地地区の代表町内会長様であります福地北部小校区の犬塚会長。
- 福地北部小校区代表町内会長 どうも、犬塚です。
- 秘書課長 それから福地南部小校区の山田会長。
- 福地南部小校区代表町内会長 山田です。よろしくお願いいたします。
- 秘書課長 よろしくお願ひいたします。
- また、市議会からは岡田隆司議員にご出席をいただいております。
- 市議会議員 こんばんは。よろしくお願いいたします。
- 秘書課長 そして市からは、市長を始め小島副市長、増山副市長、浅岡教育長、そして関係部局の部長、部次長が出席をしております。
- どうぞよろしくお願いいたします。
- なお、本日の懇談会の開催に当たりまして、衆議院議員、中根康浩様並びに青山周平様からお祝い状を頂戴しておりますので、ご報告を申し上げます。
- 続きまして、本日の予定をご案内申し上げます。
- この後、15分程のお時間で、市長から平成27年度の施政方針についてお話を申し上げます。その後、福地地区から市へ事前にお伝えいただいておりますご意見やご質問などに対しまして、市から回答をさせていただきます。また、自由意見交換の時間も設けておりますので、皆さまには、まちづくりに対するご提案やご意見、そのほか地域の困り事や関心事などがございましたらご発言をいただきたいと思います。
- なお、記録用として懇談会の様子を写真撮影させていただきますことをご了解いただきたいと思います。
- それでは、市長、よろしくお願いいたします。

○市長 皆さん、こんばんは。お元気で何よりです。市長の榊原康正でございます。

市政懇談会を開催いたしましたところ、ご多用の中を多数の方にお集まりいただきまして、お礼を申し上げます。

また、日ごろは、市政各般にわたりまして、ご理解、ご協力をいただきまして、お礼を申し上げます。

合併をいたしまして5年目を迎えているわけでございます。ちょうどこの福地地域が新しい市の中心になりまして、この地域でこれから一段と夢のある事業を進めてまいりますので、よろしくお願いを申し上げます。

さて、7月14日の火曜日ですが、佐久島でこういう懇談会を開催いたしました。私どもは13時40分の船に乗って佐久へ渡ったわけですが、その時、私もびっくりしましたが、若い人たちが随分と船に乗って佐久へ渡ってみえました。帰りの船が17時30分ということで余り時間がなかったわけですが、短い時間の中でも、若い人たちがたくさん佐久へ渡っておりまして、随分変わってきたなど、そんな印象を受けました。

今、佐久島は、若い人だけではなくて、年配の方から若い子供たちまで、たくさんの人たちがレジャーを楽しみに行ってみえます。もっとびっくりすることがありまして、佐久島で3人の若い人たちがカフェ・バーというのを開いていて、そこへいろんな若者が集まるような、また島へ多くの人たちが来て一緒に生活するような、そんな計画を立てて頑張っています。そんな姿を見まして、最近の若者は随分と思いついた運営をするなど本当に頼もしい限りであります。この3人ですが、1人は高校の教師、1人は学習塾の講師、そしてもう1人はIT系の会社員、いずれも20代で新しい仕事を見つけて、自分たちで開拓していこうということでありまして、私は今の若者というのはすごく行動力があるなど思っております。

今の若者たちの姿を見ておきますと、もう我々の若い時分と随分とスケールが違います。スポーツの分野でも、大リーグへもう何人もが行って挑戦する、あるいはプロのサッカーでもヨーロッパへ渡って活躍するとか、そういった今のスケール、行動力は、本当にすごいなと思います。

ただ、1つ心配をしていますのが、今、若者たちが子供をなかなかつくりません。なぜつくりませんか。女性の生活能力が高まってきて、結婚しなくても悠々と自分で生活ができていく、そんなことも1つの要因であるかなと思いますが、もう一つ、私は、若者たちが子供をつくって、果たして子供が将来幸せになるかどうか、そういうことを心配して、感じて子供をつくりません、そういった部分があるのではないかなと思います。

子供をつくって、育てて、そして子供たちが幸せな世の中になればいいんですが、今の日本の状況、子供たちに借金を先送りをしている部分が非常に多いようで、若者たちがこのことを本能的に感じているのではないかなと思います。ですから、我々がやっていかなければならないことは、将来に対し

て安心して暮らせるまちにしなければいけない、そのような体制にしなければいけない、我々にはそのような努めがあると思います。

そういった意味で、いろんなところへ私もお伺いをして、いろんなお話を聞きますが、一番大事なことは、市民の皆さん方と行政とが本当に協力を合ってまちをつくっていくことだと思います。

今日お配りしました資料に、平成27年度に市が行う主な事業を載せてあります。この一番下に今年度の市政運営のスローガンがありますが、「融和」と「協働」そして「飛躍」ということで、柱として市政運営をしております。「融和」というのは、合併をいたしまして、市民の皆さん方がお互いに「やあ！やあ！」と気軽に声かけれる、そういった雰囲気をつくって、みんな仲良くしてやっていこうよということでもあります。そして「協働」ということは、行政はいろんなことをやっているわけですが、行政でできることには限りがございます。やはり市民の皆さまのお力をお借りしながら進めていくということが市の発展の大きな要素であります。

いろんな部分で協働のお願いをさせていただいております。例えば先日、祇園祭がございました。このお祭りでは、いろんな分野でボランティアの方が一生懸命お手伝いをしていただいております、いつも私が感動するのは、お祭りが終わった後、市内にごみ一つ落ちておりません。これは全てボランティアの皆さん方がごみを拾っていただいたことによるもので、こういうことが大切であると思います。

もう一つ具体例を挙げますと、今、保育園だとか幼稚園の園庭、また小学校の校庭に芝生を植えております。今年も福地南部保育園に植えていただきました。このときも大勢の皆さん方にお手伝いをしていただき、立派に植えていただきました。そして、後の維持管理については地域の皆さんにお願いをしたいということで進めております。

この狙いの1つは、今の子供たちは裸足で外へ出なくて、遊ぶ機会が非常に少ない。子供の頃というのは、裸足で自由に走り回って、それが良い関係になって、大人になってからもそういったことを忘れない。私は、元気な子供たちを何としても今から育てていかなければいけないということで芝生化を進めております。芝生を植えたところとそうじゃないところでは全然元気が違います。子供の元気さ、そして保育士の皆さんの元気さ、もう歴然としております。それと、やはり蝶々やトンボ、セミやら鳥が芝生の上へ遊びにきます。そうしますと、それを子供たちが追っかけて、本当に楽しそうに走っている姿を見ると、そういった環境をしっかりとやってやるということが大事かなと。

もう一つの狙いとしては、今、地域の中で絆が非常に薄れております。絆をさらに深めるためには、やはりお互いにいつも顔を合わせて「やあ！やあ！」と言える関係が大事だと思います。

ですから、幼稚園、保育園あるいは小学校へ来ていただいて、皆さんで和気あいあいと子供たちの様子を見ながら、芝生のお手入れもしていただくと

ということが大きな狙いであります。

それと、大相撲を見ておりました、日本人の横綱が1人もいない。こんな寂しいことはありません。ですから、私は10年後あるいは20年後、この西尾から何とでも大相撲の横綱あるいはオリンピックの選手、プロ野球の選手、サッカーの選手、テニスの選手、とにかくそういった元気のある人材を育て上げたいなと思っております。どうか皆さま方、そういった子供を育てるのに手間暇をかけていただきたいなと思います。

また、地方創生ということが今よく言われているんですが、私は、祭りを一生懸命に、盛んにやろうということが地域創生の1つの方法であると思います。この福地地域にもたくさんの祭りがあります。どうか皆さま方でそれらを盛り上げていただいて、地域の活性化に取り組んでいただきたいと思います。

私もこの20年間、お正月3日には「てんてこ祭」、それに毎年出席をさせていただいておりますが、もう1,200年以上もあのようなすばらしい祭りが続いているというのは、地域の皆さんが本当に努力をされているということでもあります。

この新しい西尾市には、本当にたくさんの可能性がございます。憩の農園一帯で農業副都心構想を今進めております。これは1次産業、2次産業、3次産業の皆さんが寄っていただいて6次産業にして、この新しい西尾市の中心に多くの皆さんが集まっていただいて、ここを出発点としていろんなところへ行っていただくという、今、私たちの西尾市ではこれが一番大きな夢でございますので、またいろんな面で皆さま方にご協力をいただくこととなりますが、どうかよろしく願いいたします。

また、後ほどいろんなご意見をお聴かせいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○秘書課長 ありがとうございます。

次に、福地地区から事前に市へご提出をいただきました事前意見等について、市からご回答をさせていただきます。

ここからは、今回の懇談会で福地地区の代表者としてお力添えをいただいております福地北部小校区の犬塚会長に進行をお願いいたします。

本来ならば、司会進行は市主催ということでございまして、市の職員が務めるところであろうかと思いますが、行政と地域とが和やかな雰囲気でき懇談できる環境をつくり、活発なご意見をお出しいただくために、地区のことをよくご存知の町内会長様にお願いを申し上げているところでございます。

それでは、犬塚会長、よろしく願いいたします。

○福地北部小校区代表町内会長 皆さん、こんばんは。福地北部小学校区の代表でございます犬塚でございます。

皆さまにおかれましては、日ごろの町内会活動を始め、各分野でそれぞれ

ご尽力を賜り、またご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。また本日は、こうして懇談会にもたくさんの方にご出席いただきまして、お礼を申し上げます。

さて本日は、市長さん始め、市役所の幹部の皆さまに直接声を届けることができる、そういう良い機会でございます。少ない、限られた時間ではありますが、福地地区、さらには西尾市を住みよいまちにしていくために、有意義な意見交換ができればいいかなと思います。

○司会 それでは、ご指名を受けましたので、ここからは私が進行を務めさせていただきます。多くの意見交換により、有意義な懇談会となりますように、進行にご協力をひとつよろしく願いいたします。

まず、これより我々福地地区から市へ事前にお伝えいたしました意見、質問などに対して市からご回答をいただきたいと思っております。2時間という限られた時間、効果的に懇談会を進めるために、あらかじめ5件の意見をお伝えしております。これらご意見等につきましては、ここにおられます福地南部小学校区の会長さんの山田茂さんからご報告をしていただきます。

なお、市からの回答に対しての再度のご意見、ご質問などは全てが終わってからお受けしますので、よろしく願いいたします。

それでは、山田さん、1件目をお願いいたします。

○福地南部小校区代表町内会長 失礼します。地区からの事前意見等につきましては、私から全てご報告させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、1件目は野犬対策についてでございます。

それでは、読み上げさせていただきます。

福地北部小学校区は11の町内会で構成され、毎日、児童は元気に登校しています。学校から一番遠い地区は、東が小焼野地区、西が深池地区で、ともに徒歩で30分ほどかかります。途中は、田畑が多く、民家や人通りが少ないことから、下校時の安全を親として心配しているところです。先日は、大きな野良犬がいて児童が家に入れないという事件があったそうです。また、野良犬は群れをなして、公園など、児童の遊び場にいたりすることもあり、安心して遊ぶこともできない状況もあります。さらに、猿まで出沒することもありましたと聞いています。

そこで、市に要望します。小学校や町内会では、野犬などが出沒した場合、豊田市の愛護センターに捕獲かごを設置していただくよう依頼していますが、後手の対応となっており、効果的で早急な対策となっていません。児童や年配者に被害が起こらないためにも、野良犬などが出沒した場合、市で早目の対策をお願いできませんかということでございます。

○市長 1件目の野犬対策についてのご要望でございますが、野犬の捕獲につ

きましては、西尾市に捕獲の権限がなく、動物保護管理センターが行っていることはご承知のとおりと思います。しかし、野犬の苦情は西尾市全域から上がり、県下で最も捕獲頭数が多い状況であります。

そこで、市の対応としましては、動物保護管理センターと協議し、他の市町では通常週1回の巡回を日曜日夕方から金曜日までを通して檻を仕掛け、捕まった都度、回収してもらう体制を整えました。

また、町内会からの苦情にいち早く対応するため、聞き取り調査票についても動物保護管理センターと協議して作成するとともに、小学校や保育園などに対しての早急な注意喚起もあわせて行っています。

したがいまして、野犬の苦情が町内会長さんに届きましたら、環境保全課までご一報いただきたいと思います。動物保護管理センターと協力して対応していきたいと思います。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

次に、2件目をお願いいたします。

○福地南部小校区代表町内会長 それでは、2件目は同報無線による昼12時のチャイム放送についてでございます。

同報無線では、夏場は午後6時、冬場は午後5時に放送があり、また行方不明者の搜索の放送もあります。近年、地元でも昼12時のチャイム放送の要望があり、全市同一の制度として旧西尾市でも昼のチャイム放送をしていただけないでしょうか。

また、近隣市の状況はどうなっていますか、お尋ねいたします。

以上です。

○市長 2件目の同報無線による昼12時のチャイム放送についてのご要望でございますが、正午のチャイム放送につきましては、地域からのご要望もございましたので、代表町内会長を通じて要望調査を実施いたしました。その結果、旧西尾地域14小学校区のうち要望をいただいたのは3校区のみでありました。したがいまして、全市同一の制度としての正午のチャイム放送は行いませんので、ご理解のほどお願いを申し上げます。

また、西三河圏内の8市1町では、幸田町全域及び岡崎市の一部地域で正午の放送を実施しております。そのほかの6市につきましては、正午の放送は実施しておりません。

以上です。

○司会 2件目、回答ありがとうございます。

それでは3件目、よろしくお願いいたします。

○福地南部小校区代表町内会長 それでは、3件目をご報告申し上げます。

子供の遊び場、通学についてでございます。

初めに、意見ですが、福地地区には公園がなく、子供たちは神社などで遊んでいますが、遊具が少なく、古いものが多いです。

次に、要望ですが、通学路に街灯が少ないので増やしていただきたいと思えます。

以上です。

○市長 3件目、子供の遊び場、通学についてのご意見とご要望のうち、公園の遊具に関するご意見であります。福地地区には児童遊園9か所、農村公園2か所、矢作古川河川敷の緑地1か所及び西尾市社会福祉協議会が設置しました赤い羽根子ども広場20か所が子供の遊び場として整備されております。

農村公園を除く設置遊具は、専門業者による点検を年2回実施しており、点検結果、経年劣化等を踏まえ、修繕、更新を行っております。

児童遊園、ちびっこ広場の新規整備には、地域性や面積、維持管理などの要件がありますので、子育て支援課までご相談ください。

なお、農村公園、河川敷の緑地は、新規整備の予定はありません。また、社会福祉協議会に確認しましたところ、赤い羽根子ども広場の新規整備は難しいとの回答を受けています。

次、2点目、通学路の街灯に関するご要望ですが、防犯灯の設置、維持管理につきましては、各町内会で行っていただいております。新規設置のご要望がございましたら、町内会でご相談の上、設置していただきたいと思えます。

なお、防犯灯の設置費用につきましては、防犯灯設置費補助制度がございますので、ご活用ください。

以上です。

○司会 ありがとうございます。

それでは4件目、お願いいたします。

○福地南部小校区代表町内会長 それでは、4件目を申し上げます。

農業副都心計画とアクセス道路についての質問と意見です。

1つ目でございますが、農業副都心計画が未決定のようですが、いつ頃に決定しますか、お尋ねします。

2つ目ですが、現時点での構想・事業内容の中に、安城市の堀内公園や碧南市の明石公園と同規模施設を建設することはどうでしょうか。

3つ目ですが、都市計画道路岡崎一色線の細池町までの開通で市街地への利便性が高まりました。未開通の細池町から憩の農園までの工事の着手予定はどのようになっていますか、お尋ねします。

4つ目としまして、未開通部分の草刈りは毎年実施されていますが、近年

は、年末とか年始など、草刈り時期が遅くなっています。地元では、雑草の実が近隣の田畑に飛散する前の草刈りを強く要望していますが、見通しはどうなっていますか、お尋ねします。

以上です。

○市長 4件目の農業副都心計画とアクセス道路についてのご質問とご意見のうち、1点目の農業副都心計画の進捗状況に関するご質問でございますが、農業副都心構想を進めるためには、施設を整備する事業主体の決定が不可欠であります。整備計画では、JA西三河の憩の農園を中心的施設と位置づけておりますので、JA西三河と市の間で、事業主体、管理運営方法、法的規制などの諸課題について、随時、協議調整を行っているところであります。

現在のところ、事業主体選定の目途はたっておりませんが、今後も月1回から2回程度のペースで開催し、引き続き最重要課題であります事業主体の選定に努めてまいりたいと考えております。

なお、選定できた折には、整備スケジュールや管理運営方法などについて、改めて慎重に検討する必要があると考えております。

次に、2点目の農業副都心構想における公園建設に関するご意見でございますが、この構想は、県内第3位の産出額を誇る、本市の農畜水産物の振興を主な目的としております。理想とする施設としましては、植木や地元農畜水産物の直売所や、加工品・特産品の販売所、市内で採れる新鮮な食材を使用したレストラン、周辺観光スポットへの誘導や案内機能が充実している観光案内所を想定しております。

現在のところ、堀内公園や明石公園のような遊具を主体とした公園は予定しておりませんので、ご理解をお願いいたします。

次に、3点目の都市計画道路岡崎一色線の工事予定に関するご質問でございますが、細池から憩の農園までの都市計画道路岡崎一色線につきましては、愛知県により大部分の用地が確保されております。市としましては、県議会議員とともに、愛知県に事業化を強く要望しておりますので、ご理解をお願いいたします。

次に、4点目の未開通部分の草刈りに関するご質問でございます。

未開通部分の草刈りの見通しにつきまして愛知県に確認しましたところ、7月15日に入札を終え、早急に草刈りを行うとのことであります。

以上です。

○司会 4件目、ありがとうございました。

それでは、最後の5件目をよろしくお願いいたします。

○福地南部小校区代表町内会長 5件目でございますが、西尾市の観光についてでございます。

西尾市には、三ヶ根山から見渡す三河湾など、景観の素晴らしいところが

ありますが、残念ながら他市、他県までPRが行き届いていないように思われます。もう少し整備をすれば、山と海に恵まれた素晴らしい西尾市になるのではないのでしょうか。

以上でございます。

○市長 5件目、西尾市の観光についてのご意見でございますが、市外、県外へのプロモーション活動の際には、風光明媚な三ヶ根山や潮干狩り、海水浴が楽しめる三河湾についてPRしております。また、三ヶ根山には毎年、数百本のアジサイを植え、美しい景観保持に努めております。

今後も三ヶ根山や三河湾を始めとする豊富な観光資源を活用し、誘客活動に励んでまいります。

以上です。

○司会 市長、ありがとうございます。

私ども福地地区から事前に市へお伝えしました全ての意見、質問等に対しまして、ただいま市長から回答がありました。

ここで、回答に対するご意見、ご質問を受け付けます。

ご発言に当たっては、手を挙げていただき、私が指名させていただきます。そしたら、町名、町内会名、お名前おっしゃってください。時間が限られておりますので、要点をまとめて、簡潔に質問していただけたらありがたいなと思いますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、誰かございますか。

○市民 福地南部の伊^りと申します。

本日は、市の幹部の方々がこのように多く出ていただきまして、私もこの会に出させていただいてびっくりしております。また本当に良い会だなと思っております。ありがとうございます。

それでは、質問いたします。野犬対策についてですが、私の方にも時々野犬が出ます。私も、5、6年前ですかね、危ないものですから、町内会でいろいろ聞きまして、早速に豊田の保護センターですか、ここにお願いしまして、捕獲機を2台ほど借りました。2か月の間、毎日餌やりをしていただきまして3頭捕まえました。その後はやっぱり相手も慣れてしまって、幾ら仕掛けても入らなかったですけどね。今、市長さんから、この愛護センターとタイアップして、野犬を捕まえるような対策のお話をいただきましたが、私の経験から言いますと、最初は捕まりましたけど、あとはやっぱり相手も命がけですから、なかなか入りませんでした。うちの町内でも大人が散歩していたら向かってきたと、そんなことも聞いておりますので、本当に早急に、ただやっとならというだけじゃなくて、何とか捕まるような方法を、愛護センターもあるかもしれないけど、事件が起きてからじゃ遅いと思いますので、何とかご配慮のほどお願いしたいと思います。

以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

ただいまの野犬対策ですが、僕が質問していいのかどうかわかんないですが、6月の終わりにある人から電話がありまして、床下で結構声がすると、ちょっと見てくれんかと言われまして、そのお宅に行きました。昔の家でして、土台、囲んでないわけなんです。土のところにコンクリを張って柱を立てて。そこから入り込んで、子犬が3匹おりました。それで、豊田の愛護センターにお願いして回収していただいたんです。実は一昨日、またそういう依頼を受けました。床下で声がする。また愛護センターの方をお願いしまして、4匹おりました、子犬が。この一月のうちで4匹。僕、考えましたよね、親を捕まえること、もちろんそれが一番大事でしょう。しかし、子犬が大きくなれば、また増えちゃうと。関連した質問でちょっと申しわけありませんが、させていただきます。よろしいですか。

○環境部長 環境部長の田中と申します。よろしく申し上げます。

ただいまの野犬のご質問でございますが、野犬は、先ほども答弁申し上げましたように、県知事から特別の許可をいただいた捕獲人じゃないと捕獲をすることができないということでありまして、市はその捕獲をする権限がございません。通常、週1回の巡回をしてもらっていたわけですが、市内の野犬頭数が多いということで、いつでも連絡すれば来ていただける体制を整えております。今、代表町内会長さんが言われたように、犬の檻を仕掛けるわけですけど、やっぱり親犬は警戒心が強いものですから、なかなか捕獲できません。しかし、住処となるようなところがありますと、そういったところに罠を仕掛けますと、子犬なんかは警戒心が薄いものですから捕まります。そういった寝床だとかがあったら、すぐに管理センターのほうにご連絡いただければ、豊田のほうと連絡をとって対応できますので、よろしくお願いたします。

それと、野犬は目を合わせたり逃げたりすると追ってきたり、向かってくることがありますので、無視していただいて、余り刺激を与えないように気をつけていただけたらと思います。

野犬の保護というのは、動物愛護の精神から、現在では昔のような毒餌だとか麻酔銃だとか、そういったことが禁止されており、この動物保護管理センターの捕獲人が直接つかむか、捕獲かごで保護するしか方法がありません。なかなか捕まらない状況であると思いますが、野犬を見たり、それから野犬の行動半径や行動パターンもある程度決まっているそうですので、犬が出没した時間だとか頭数だとか、通り道なんかもわかりましたら、ご連絡いただければその情報も動物保護管理センターに連絡させていただきますので、そういったことにご協力いただければと思います。よろしく申し上げます。

○司会　そういうことでございますけれども、よろしいでしょうか。
ありがとうございました。
他にございませんか。

○市民　須脇町のマキと申します。

岡崎一色線についてお尋ねします。私の町内は、この道路予定地を抱えておりまして、今、草が見事に青々と伸びた状態になっております。草刈りは後にやっていただけるというご回答をいただきましたけども、不法投棄があるんですよ、草が茂っていてごみが非常に捨てやすいということで。何か看板等で警告するような対策がとれないものかなと思います。

それと、名鉄との交差、先日、都市計画道路の見直しがどうのこうのという記事が載ってございましたけども、その名鉄との交差というのは何か選定しているのでしょうか。

○司会　以上ですね。今のアクセス道路の件、それと踏切ですかね、踏切を何とかつくっていただきたい、鉄道を横切る道路になるのかってことです。よろしく願いいたします。

○環境部長　ただいまのごみの不法投棄の件ですが、不法投棄防止の啓発看板は市で用意しますので、もしそういったことが頻繁に起きるようであれば、ごみ減量課にご連絡をいただきたいと思います。ちなみに、ごみ減量課は、クリーンセンターに事務所がありますので、そちらのほうにお願いいたします。

○建設部長　建設部長の杉山と申します。よろしく願いいたします。

都市計画道路の高架の件でございますが、名鉄に対しては平面交差でお願いをしております。しかし、名鉄からは高架で都市計画決定されている以上、平面交差は認められないという回答をいただいております。

○司会　あと何か。・・・ないようですので、いまからは自由意見交換ということで進めます。今までのご意見等に限らずに、せつかくの機会でございますので、市に対しての要望あるいは質問あるいは意見があればお願いしたいと思います。ありませんか。

事前意見等の5番目の三河の眺望の件ですけども、アジサイとかいうことで新聞にも記事が載っていますが、僕が感じるには、何か形原とか蒲郡のほうはどうも主体で、幡豆が西尾市になったらすごく影が薄いと。何かそれに対してもっと大いにPRをしていただいて、幡豆のほうからも、有料道路を上がっていただく車がたくさん見られるようにできないかなと思うわけなんですけど、その点はどうでしょうか。

○産業部長 産業部長の金原と申します。

三ヶ根山のアジサイについてでございますが、現在、幡豆地区の小学校の生徒さん、それから西尾信用金庫さんのご協力をいただきながら、沿線に毎年アジサイなどを植えているところでございます。

三ヶ根山のアジサイが蒲郡とかに比べてちょっと影が薄いんじゃないかというご指摘をいただき、私ども一生懸命やっとするつもりなんです、ちょっと耳が痛いところでございます。何と申しましょうか、形原のアジサイにつきましては、1か所のお寺にかたまっています。三ヶ根山のアジサイというのは、スカイライン沿いに7万株のアジサイが植わっるということで、面の場所ではなく、私どもは線として長い間楽しんでいただけるというような形でやっております。

そして、このアジサイ時期に、たくさんのお客様に来ていただくため、蒲郡、幸田と連携して「あじさい祭り」というのを6月の1か月間やっておりますし、6月の中旬の土日には、三ヶ根山中で「あじさいフェスティバル」というイベントをやっております。このような形で、アジサイの時期にはイベント等をやり、たくさんのお客様に三ヶ根山に上がっていただくようにしております。また、春とか秋とか、あとイルミネーションの時期についてもイベントをやりながら、たくさんの方に三ヶ根山に上がっていただき、すばらしい三河の眺望を楽しんでいただけるような取り組みをしておりますが、今後ともそういう努力はしてまいりますので、皆さま方にもご協力をお願い申し上げますとともに、ぜひまた三ヶ根山にお越しいただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

○司会 ありがとうございます。

他に何かございますか。

○市民 (マキノさん) すみません、私、ここの住人じゃないんですけど、市長さんにぜひお願いしたいことがあります。県道西尾幸田線ですか、ここって憩の農園に来られる方が通られ、市外からおみえになる方もいっぱいなんです。そこの県道の低灌木っていうのかな、その短い木の中にシガラというカヤの種類、堤防に生えとるススキみたいな、根が白く深くて、横へずっと生える始末の悪い草が生えとって、せっかく憩の農園におみえになって、西尾市が緑化では一生懸命やってる地域なのに、あの県道に始末の悪い草が生えとって、すごく残念に思うんですが。あれはかなり労力かけて抜かないと取れない、今いい農薬があって、切った先にそれを塗ってやると根まで枯れるっていうのがあるんですよね。結構手間かかるんですけど、取るのが。でも、あそこがきれいであってほしいなと思ってる人、きっとここに大勢いらっしゃると思いますよ、福地の皆さん。

なので、今まであまりその草を取ったっていう気配を感じないんですが、少しそういう意見があったというふうに県にお伝えいただけるといいと思

ますが、どうでしょうか。

○司会 ありがとうございます。

どうでしょう。

○建設部長 建設部長の杉山です。

今のご意見ですが、それを県のほうで取り切っちゃうということですかね。

○市民 他に木が生えてるので余計難しい。よくやられる方法は短く丈に切っておいて、面倒だけどそこへ薬液をつける。そうすると、ほかのものは。

○建設部長 わかりました。その手法もあわせて伝えます。

○市民 考えてほしいです。

○司会 ご指導いただけたらありがたいと思います。ありがとうございます。

ほかにはどうですか。・・・ないようですので、市から情報提供がありましたら、お願いいたします。

○企画部長 失礼します。企画部長の鴨下でございます。よろしく申し上げます。私からは新たな「ふるさと納税制度」ということで、お手元に資料を配付してございます。今年6月1日からの新たな制度でございまして、何が新しいかと言いますと、今まではふるさと納税していただいてもお礼状だけで済ませていたものを、この制度では1万円以上寄付をしていただいた個人の方に対しまして、3,000円程度の特産品をお礼として送付させていただいております。特産品の種類としましては、一色産のウナギ、西尾の抹茶、それからえびせんべいで、今のところこの3種類なんですけど、6月から受付を始めまして、7月16日までで、件数は649件、836万円ほどのご寄附をいただいております。実は平成26年、去年は年間で29件、577万円ほどでしたので、もう既に昨年1年分を、この1か月半でオーバーしているということでもあります。

国も何とか納税者の手間を省くようにということでワンストップを制度化しております。ワンストップといいますのは、普通は寄附金控除を受けるためには確定申告をしなければならないんですが、寄附地が5か所を超えない限りワンストップということで、特に手続をしなくても控除ができるというようなことでございます。

ただ、これもいろいろ要件がございますので、その辺はしっかりと確認をしないとだめですけど、例えば6か所目を寄附してしまうともうだめだとか、あるいは確定申告をしなければならなくなったような場合ですと、これは受けられないとか、要件がございますのでご注意くださいと思います。

それで、今回寄附金をいただいて、それを活用していくわけですが、今の

ところ一番多い寄附の目的が教育を充実させてほしいということ、それから福祉を充実させてほしいということ、そうした方が多くなっております。そのほかにも総合運動場の建設のためですとか、西尾城趾の整備のためとか、いろいろ選ぶこともできますので、お気持ちをございましたらご活用いただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

以上でございます。

○**教育部長** 失礼します。教育部長の岩瀬と申します。よろしくお願い致します。

私からは、教育委員会の文化振興課が所管しておりますコンサートの宣伝をさせていただきます。4つ、皆さまにチラシをご用意いたしました。

まず1つであります。改めてご案内を申し上げるまでもない大歌手でございます「由紀さおりさんと安田祥子さんのファミリーコンサート」、8月8日土曜日に文化会館の大ホールで開催します。とても美しい日本の歌を伝えたいということでございます。あとわずかでございますけども、お席のほう、まだあるということでございますので、ぜひご来場ください。

続きまして、2つ目でございます。「豊田将史カウンターテナーコンサート」でございます。8月21日に文化会館の小ホールで開催します。西尾市教育委員会もこれに共催しているところでございます。カウンターテナーというのは、私も初めて知りましたが、男性なんけども、女性の高い声域、音域でもって歌う、高い声という、そういう専門分野ですけども、とても美しい歌だそうなんです。ぜひこれにつきましてもご来場ください。

3点目です。「桃太郎狂言記」というもので、お芝居です。これには西尾市民約30人も出演をいたします。さらに、左肩にあります南翔太さんというのは、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、旧幡豆町の出身の男優であります。ウルトラマンシリーズなどにも出て人気を博しておるわけでありまして、現在は西尾の観光親善大使にもなっております。南翔太さんも特別出演するということで、今までとはちょっと一風変わった桃太郎の物語が展開される芝居でございます。9月5日でございます。どうか皆さま、ぜひご来場ください。

最後でございます、4つ目、こちらもぜひ宣伝させていただきます。

子供たちがとても喜びそうなお芝居で「天地転動」といいます。サブタイトルは「富士はニッポンイチの山」ということでありまして、とてもおもしろい演出だそうであります。9月13日日曜日、一色の地域交流センターで、一色の公民館ですとか図書館なんかと一緒にいるところでありまして、こちらで開催します。こちらもぜひともご来場ください。

以上、私から4つ宣伝をさせていただきました。ありがとうございました。

○**建設部長** 建設部長の杉山です。私からは福地地域に特に関係のある道路事業の進捗状況を報告させていただきます。

まず、1点目でございますが、幹線道路の市道鶴ヶ池平口線の整備を進め

ております。非常に交通量が多く危険なため、平成18年度から歩道設置の整備を進めているところでございます。本年度は一色排水路支線の北側約330メートルの工事を予定しており、横手の交差点までの整備を来年度の2月には終える予定です。

もう一か所が、都市計画道路衣浦岡崎線と深池地区工業用地を結ぶ市道菱池24号線でございます。これにつきましては皆さまにご協力をいただきまして、用地を取得することができました。今年度は、西尾東部雨水幹線の暗渠化を進め、来年度の完成に向け工事を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 よろしいですか。

意見ももう出尽くしたようですので、これで一応終了ですね。

なれない司会でございますけども、進行にご協力いただき、大変ありがとうございました。それでは、事務局へお返しします。

○秘書課長 犬塚会長、どうもありがとうございました。

それでは、閉会に当たりまして、市長がお礼のご挨拶を申し上げます。

○市長 いろんなご意見いただきまして、ありがとうございました。

市では、いろんな事業をやっているんですが、なかなか市民の皆さま方に伝わっていないということが多くございます。今、市では「市民協働ガイド」という制度を設けておりまして、これは、例えば10人ぐらいの皆さまがお集まりをいただいたら、市の職員が出掛けまして、市のやっていることをご報告したり、また皆さま方からご意見やご要望をお聴きする制度でございます。どうか、この機会で市の情報を知っていただき、また市の職員が現場へ行って生の声を聴かせていただいて、それを市政に反映させていくということでございますので、ぜひご活用いただきたいと思っております。

市民の方は、自分が関心あることはよく聞くというか、新聞で読んだりされておるんですが、ほとんどのことには関心がないということが現実だと思っております。今日も商工会議所の会長がみえまして、プレミアム商品券、あれも最初は申し込みが少なかった。まだまだ余裕があるということを発表したら、朝4時ぐらいから並ばれたということでありまして、情報を伝えるということは本当に難しいことだなと思っておりました。とにかく行政も一生懸命やらせていただいておりますが、まだまだ皆さんに伝わっていないことが多いと思っておりますので、ぜひご活用いただきたいと思っております。

それと、今年の年末に大きな行事を予定しておりまして、今、進めております。12月13日の日曜日でございますが、第2回の吉良サミットを西尾の文化会館大ホールで開催いたします。第1回は、昨年、米沢で行いました。米沢は、吉良家と三重の縁で結ばれているということで、狙いとしましては、吉良上野介は名君であったと、そういうことをもっと全国の人に知らさなけ

れば吉良公がかわいそうである、そういう趣旨で昨年は米沢、上杉の米沢藩でやりました。

今年は文化会館大ホールでやるんですが、1つの大きな目玉といたしまして、第18代の徳川宗家に来ていただきます。徳川宗家には、幕府側から見た元禄赤穂事件はどんな事件であったのか、そういうようなお話をさせていただきます。そしてもう一人は、第17代上杉邦憲公に来ていただきます。この上杉さんは、ものすごく優秀な方でありまして「はやぶさ」を打ち上げましたよね、数年前に。あの「はやぶさ」を打ち上げたトップの方で大学者ですね。その上杉邦憲公に西尾へ来ていただいて、上杉家から見た元禄赤穂事件はどのような事件だったのかという話をさせていただきます。そしていろんな地域の、吉良家に関係のある地域の首長にも来ていただいて、いろんな話をさせていただくという、今までこういった企画はおそらく全国でも1回もやられたことはありません。本物の殿様が来て話をさせていただくと。これはもう絶対にマスコミもたくさん来て応援をしてくれると思います。

それと、赤穂のすぐ近くに相生市という市があります。この相生市というのは大石内蔵助の出身地であります。実は先日、そこの市長と話をしておりましたら、この市長が言うには、浅野内匠頭は非常に何か切れやすい人であったと。もう一つは、女性が大好きだったと。まあ、これは誰でも、浅野さんだけじゃなくね。

世間では、日本一の悪党は吉良上野介になっております。2番目が明智光秀。そんな不名誉な殿さんではありませんので、ぜひ真実を我々はここから訴えていって、吉良というところは名君が出たところだ、そういう誇りのある地域にしたいなと思います。

また、いろんなご意見あるいはこうしたらどうかというご要望がございましたら、いつでも市役所のほうへお声掛けしていただき、私もおりますので、「おい、お茶を飲みに来たぞ」と言ってもらって、どんなことでも結構でございますので、皆さんのご意見をお聴かせいただきたいと思います。

とにかくこれから暑い夏がやってまいりますので、体には気をつけていただいて、元気な毎日をお過ごしいただきたいと思います。今日はありがとうございました。

○秘書課長 最後に、事務局から3点、ご連絡をお願いいたします。

1点目は、本日の資料にあわせて、アンケート用紙をお配りしてございます。今後の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにご協力いただきまして、お帰りの際、アンケート用紙と筆記用具を、出口の回収箱にお入れいただきますようお願いいたします。

それから、2点目でございます。市では、皆さまの声を市政運営に反映させるために「市民の声」の制度を設けております。市政に対してお気づきのことがありましたら、ご意見などをお寄せください。提出の方法などは、本日の資料に挟み込んであります用紙をご参照ください。

3点目でございます。先ほど市長が申しあげましたように、市ではさまざまな機会を通じて、市民協働ガイドを行っております。詳しくは、お配りしましたチラシをご覧くださいまして、会合などの際には、ぜひご利用いただきたいと思っております。

連絡事項は以上でございます。

それでは、これをもちまして、市長と語る市政懇談会、福地地区を閉会いたします。交通安全にご留意いただき、お気をつけてお帰りください。

本日は、ありがとうございました。